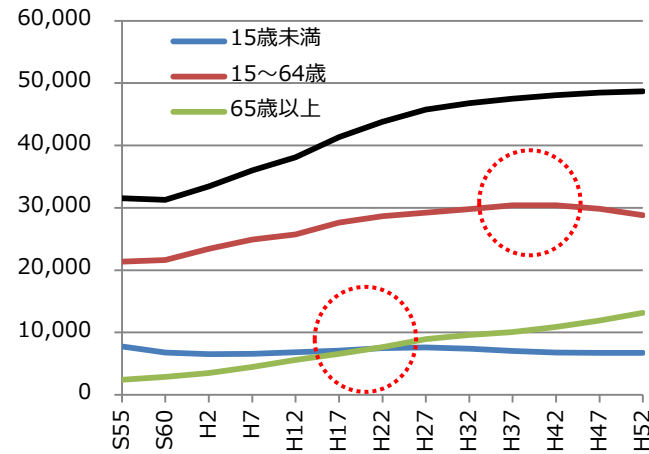


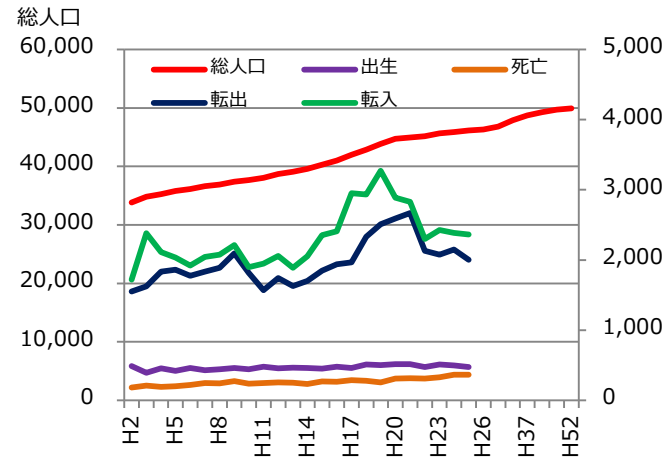
# 高浜市における今後の人口動向について

## 1) 本市の人口動態 (3区分)



※国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所による人口推計より

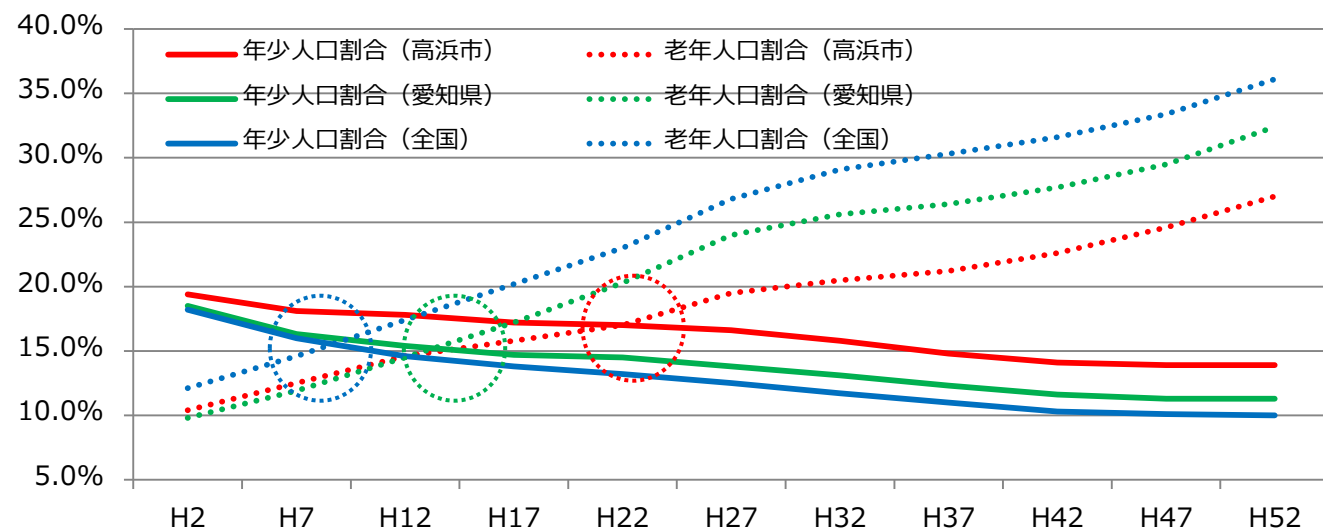
## 2) 本市人口の自然・社会増減推移



○人口は1985年(昭和60年)頃から年々微増を続けているが、年少人口(15歳未満)は1975年(昭和50年)頃をピークに年々減少しています。老年人口は年々増加し続け、2010年(平成22年)頃には年少人口を老年人口(65歳以上)が上回り、今後もその差は広がっていくと推計されます。

○人口の増加要因としては、常に転入が転出を上回り、出生が死亡を上回ってきたためです。

## 2) 年齢構成割合の動向



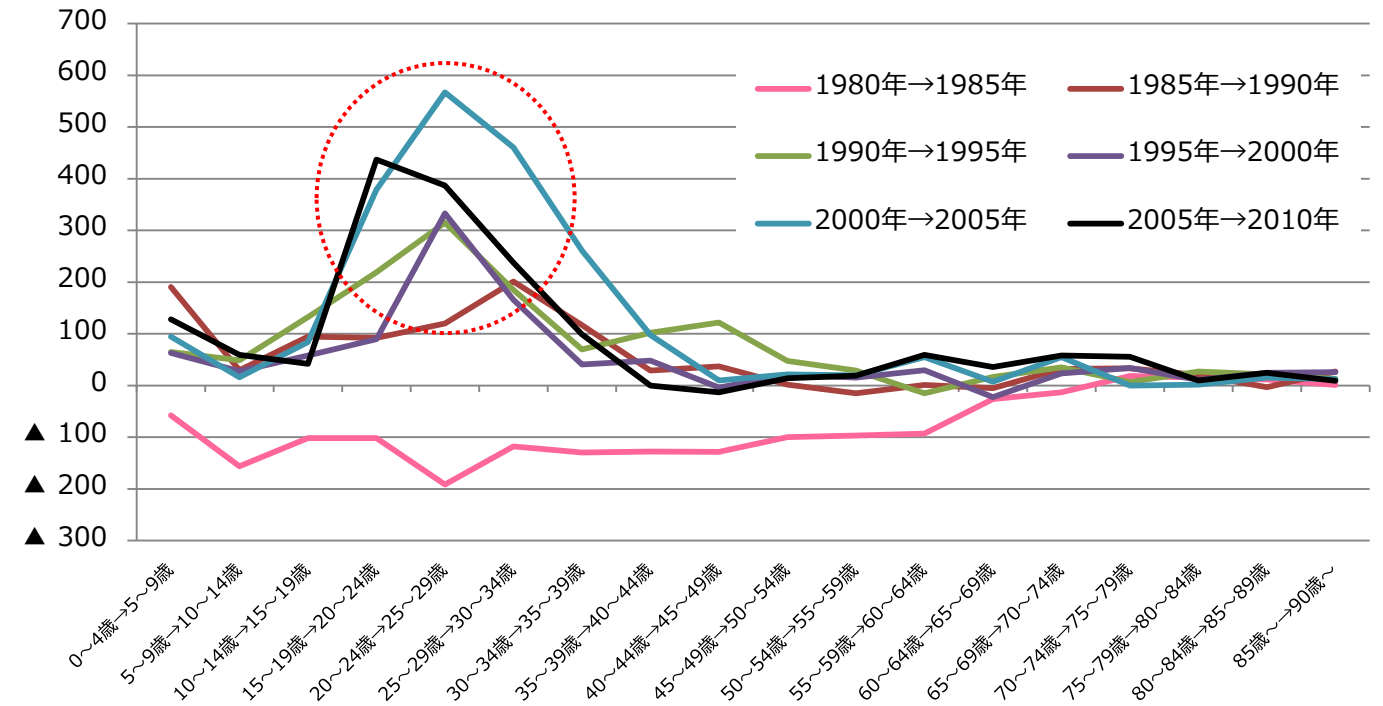
※1 高浜市の人口割合について、平成22年までは住民基本台帳より

※2 高浜市の平成27年以降の人口割合及び愛知県・全国については、国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所推計値より

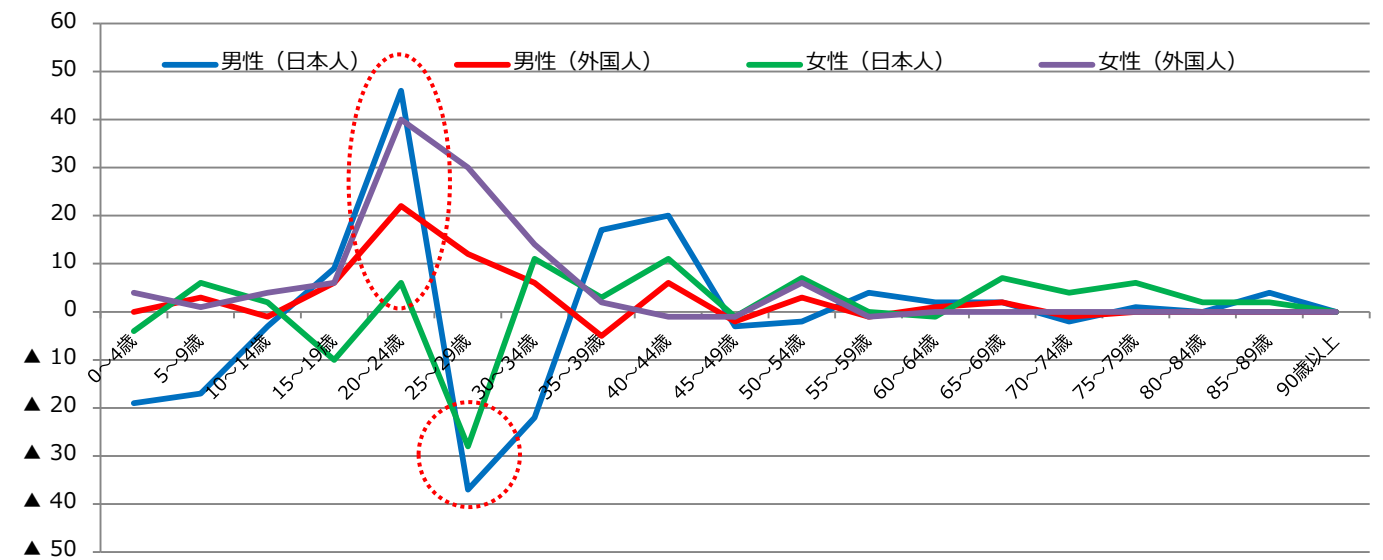
○高浜市においては、平成22年時点で老年人口割合が年少人口割合を上回り、平成52年には4人に1人が65歳以上となり、その割合は年少人口の約2倍に達します。

○全国・愛知県平均と比較すると、全国・愛知県平均よりは良好な水準となっています。

## 3) 年齢階級別人口移動の動向 (※国勢調査結果より)



## 4) 平成26年における年齢階級・国籍別の人口移動の状況 (※住民基本台帳人口移動報告より)



○転入・転出の差引(転出者より転入者の方が多いと転入超過となり人口が増加する)の動向を見てみると、1985年(昭和60年)以降、ほぼすべての年代で転入超過となっています。

○直近の平成26年の状況を見ると20~24歳の転入超過が最も多く、25~29歳では日本人の男女が転出超過となり、他市町村へ人口流出している。